

# 地域ぐるみの総合的なカラス被害対策

## ～鳥取市福部町湯山地区の事例～

### 1 取組経緯

鳥取市福部町湯山地区では、数年前からカラスによるナシ果実の食害が発生していた。被害はナシが小さい小袋かけ時期から始まり、6月中旬から7月上旬の大袋かけ時期が最も多くなって、収穫期には芯を残してほとんどの部分を食害する園地もあった。対策としては、個人毎に工夫して追い払いをしたり、捕獲檻を設置して取り組んでいるものの、顕著な効果が得られていない状況にあった。そこで、地域ぐるみの総合的な対策を実施した。



▲小袋をかけた時期から被害を受ける  
(一度に50～100羽のカラスが飛んで来て、  
30分で1,300個の梨が落とされたことも)

### 2 取組内容

- (1) カラス被害及び対策の実施状況について専門家を交えて現地調査を行った(平成19年5月)。
- (2) 周辺ナシ園の位置、対策実施方法、檻の位置をマップ化し、これまでの対策の問題点を協議した。また、テグスによる侵入防止(5月)、落果果実の処分徹底(6月)を実施した。
- (3) カラス捕獲檻を設置し、おとりカラスを入れて捕獲を開始した(8月)。
- (4) 被害対策の効果を確認した(8月下旬)。
- (5) 追い払い、侵入防止対策の効果確認結果のとりまとめを行った(11月)。



▲テグス張りによる飛来防止



▲直管パイプを利用した捕獲檻の設置  
(建設費13万円、農地から離れた場所に設置)



▲ロケット花火発射器具による追い払い



▲ナシ落果果実の埋設処分徹底  
(一部は捕獲檻のエサとして活用)

### 3 取組効果

- (1) 種々の追い払い方法について、効果の有無を整理できた(多くは慣れを生じて効果なし)。
- (2) 捕獲檻の設置改善により捕獲数が増加した。
- (3) ナシ園のカラス対策情報として研修会等で活用し、技術の普及推進に役立った。

〈これまで行ったカラス追い払い対策とその効果〉

※ 橋本 保 氏 の実践事例

区 分	使用した追い払い用具等	効 果
音 声	●爆音器	慣れを生じる → 効果なし
視 覚	●ビニール片・金属プレート・CD など	慣れを生じる → 効果なし
	●目玉模様	〃
	●かかし・マネキン	〃
	●カラスの模型・死体	〃
	●防鳥テープ 音声	〃
音声＋視覚	●模型打上げ装置	慣れを生じる → 効果なし
磁 力	●磁石	効果なし
遮 断 飛来妨害	○ネット（防鳥ネットなど） ○テグス	最も効果あり
攻撃的な 追い払い	○人によるロケット花火の発射 ○自動ロケット花火発射装置 ○エアガン	単独の用具では、慣れを生じやすい 本物の威嚇効果がある猟銃による捕獲との 組み合わせにより効果あり
捕 獲	○銃による有害捕獲 ○捕獲オリ（カラス箱ワナ）による捕獲	生息密度の低下よりも追い払いに効果あり 生息密度の低下に効果あり

〈効果がほとんどない追い払い用具の例〉



▲磁石のついた蛇の模型



▲黄色いビニール



▲ネコの形をした鏡

- 単純な仕掛けの対策グッズでは、慣れが生じる。
- 置物などは、変化がなければカラスにとって風景に変わるので  
人が絶えず手間をかける工夫が必要。
- 追い払いとネット、テグスの設置とを組み合わせた対策が良い。